

第34回

難病・遺伝医学 セミナー

講演: がんにおけるスーパーエンハンサーの重要性

2021年

12月15日 **水** 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介: 中村 卓郎先生

公益財団法人がん研究会 がん研究所 発がん研究部 部長

座長: 岡崎康司 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

司会: 新井正美 (難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

概要: 小児や若年者に発生するがんでは、高齢者のがんと比較するとゲノム変異の頻度が少ない一方で、強力な形質転換能を有する発がん性転写因子と特異的エピゲノムプロファイルの相互作用が、発生と維持にしばしば重要である。我々は、その代表例として急性骨髄性白血病 (AML) と融合遺伝子を伴う骨軟部肉腫を研究している。AMLにおけるHOXA9遺伝子をコアとした発がん経路を解析し、Trib1 pseudokinaseとの相互作用によるスーパーエンハンサー (SE) の改変と関わっていることを明らかにした。肉腫においても胞巣状軟部肉腫 (ASPS) に焦点を当て、原因遺伝子ASPCR1-TFE3とSEの相互作用がASPSに認められる血管形成に必要であることを観察している。本セミナーでは、がんの発生と進展におけるSEの重要性とSEを標的とした治療法について発表する。

申込方法: 以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/sXvu4R7VEqo1EbFB7>

LIVE配信 (Zoom) にて開催

12月14日 (火) 17時締切

※当日は、順天堂大学10号館1階105カンファレンスルームで講演致します。聴講もできますのでお時間がありましたら会場でのご参加もお持ちしております。



お問い合わせ

難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター

新井/原田 (内線71407/5167)

共催: 順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP QRコード

